

国土交通副大臣 大西 英男 様

要 望 書

- ・ 北陸新幹線敦賀駅周辺の整備促進
- ・ 防災・減災、国土強靱化対策と
地方創生に向けた社会資本整備の推進

令和2年10月22日

福 井 県 敦 賀 市

北陸新幹線敦賀駅周辺の整備促進

日頃は、北陸新幹線敦賀駅周辺の整備につきまして、格別の御指導と御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、北陸新幹線は、高速交通体系の中軸として国土の均衡ある発展に不可欠なものであり、観光立国に向けて、訪日外国人等の国内の快適な移動を実現し、沿線地域の飛躍的な発展を図るうえで極めて大きな効果をもたらすものであります。

北陸新幹線の敦賀開業については、関係機関が緊密に連携し、経済波及効果を高め、地域の活性化に着実につなげていくことが最も重要であります。

つきましては、次の項目について、特段の御配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 新幹線駅前広場等の都市基盤施設の整備について

新幹線駅前広場等の都市基盤施設の整備は、交通結節点としての機能を高度化し、広域観光の拠点となる交通ターミナル機能の形成にもつながることから、国庫補助金の重点的な配分を強く要望します。

2 市道吉河19号線等の整備について

国道8号敦賀バイパスに直結し県道敦賀駅東線及び県道余座若葉線と平面交差となる市道吉河19号線の整備については、周辺地域の利便性の向上および敦賀駅東地区の交通安全対策の観点において必要であることから、国庫補助金の重点的な配分を強く要望します。

防災・減災、国土強靱化対策と 地方創生に向けた社会資本整備の推進

近年、平成30年2月豪雪や令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨災害など、全国各地で大規模自然災害による甚大な被害が相次ぎ、気候変動の影響により更なる頻発化・激甚化が懸念されています。

平成30年度より「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を決定し、国・地方が一体となって防災・減災対策等に取り組んできましたが、老朽化対策やネットワークの整備・強化など必要な対策は未だ数多く残されています。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会経済活動が停滞し、地域経済は大打撃を受けており、この危機を乗り越え、地域を持続的に維持・発展させるためには、東京一極集中を是正し、地方への人の流れをつくる地方創生を力強く進めていくことが重要であります。

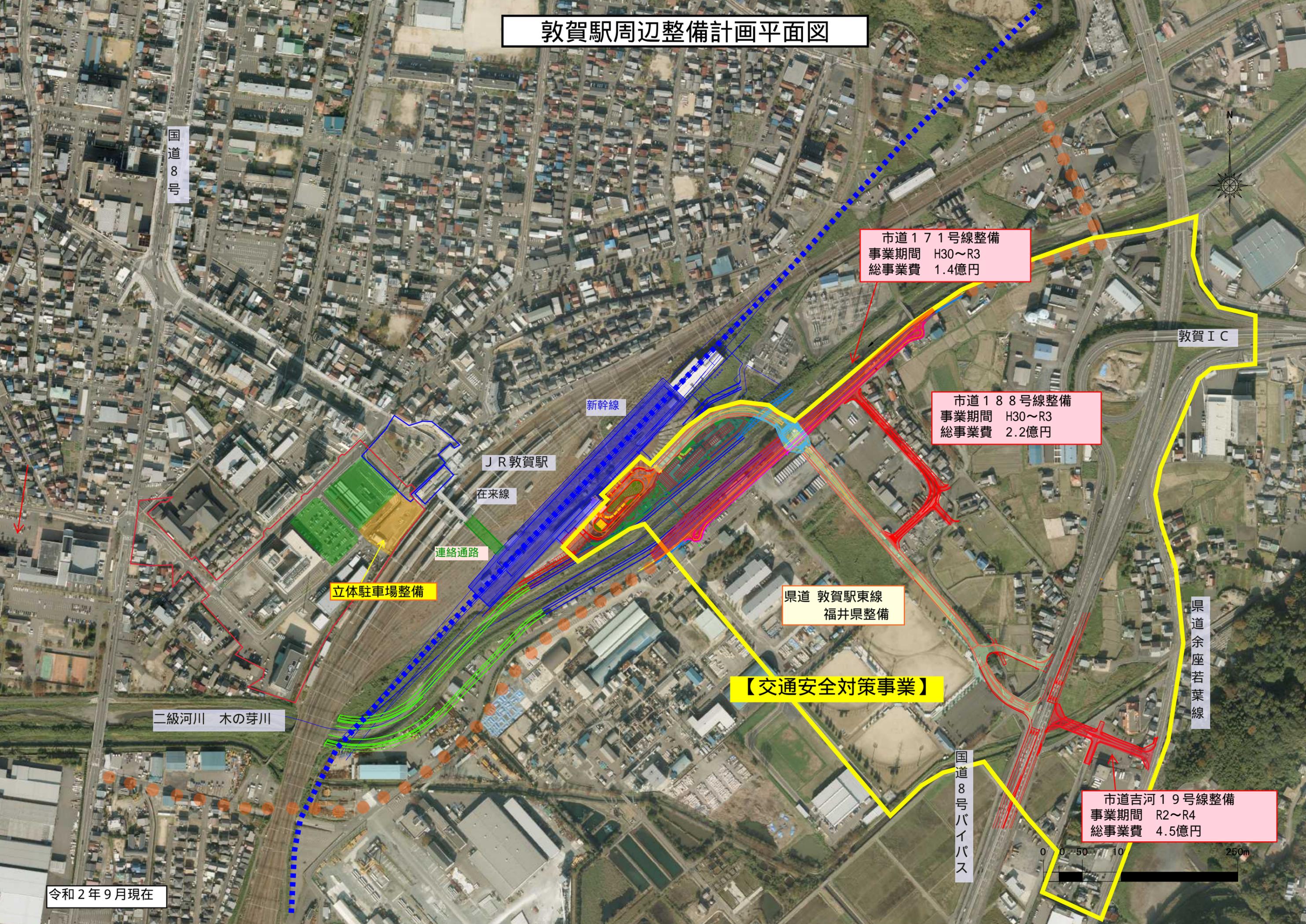
つきましては、次の項目に特段の措置を講じられるよう強く要望します。

- 1 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」について、災害時の安定的な人流・物流の確保等に寄与する事業にも対象を拡大した、新たな5か年の計画を策定し、必要な予算を安定的に別枠で確保すること。
- 2 老朽化が急速に進む社会インフラに対し、予防保全型の修繕・更新が図られるよう予算枠を拡充し、必要な予算措置を行うこと。
- 3 地方創生に向けた社会資本整備を着実に推進するため、公共事業予算を安定的かつ持続的に確保するとともに、災害に強く安心して暮らせる基盤の構築や、分散型の国土利用や物流・観光等の経済活動復興に資する道路ネットワークの整備を早急に進めること。

令和2年10月22日

敦賀市長 瀧 上 隆 信

敦賀駅周辺整備計画平面図



国道8号



市道171号線整備
事業期間 H30~R3
総事業費 1.4億円

市道188号線整備
事業期間 H30~R3
総事業費 2.2億円

敦賀IC

新幹線

JR敦賀駅

在来線

連絡通路

立体駐車場整備

県道 敦賀駅東線
福井県整備

【交通安全対策事業】

県道余座若葉線

二級河川 木の芽川

国道8号バイパス

市道吉河19号線整備
事業期間 R2~R4
総事業費 4.5億円

令和2年9月現在

